



# 自衛隊千葉地方協力本部

## 自衛隊千葉地方協力本部

### 自衛隊千葉地方協力本部長による大学講義

令和7年10月29日（水）、自衛隊千葉地方協力本部長 西川和宏1等海佐は、千葉県銚子市に所在する千葉科学大学において、安全保障講話を実施した。

同校は毎年、一般幹部候補生を主体に自衛隊入隊者を輩出する大学である。特に令和7年度においては、薬剤科幹部候補生2名・幹部候補曹2名及び一般曹候補生1名の計5名の合格者を輩出し、現在入隊予定である。

本講義については、10月に同校の学長である藤本一雄氏に本部長が表敬した際に、危機管理学部の学生のために安全保障の概況及び自身の自衛隊の勤務経験等について、その知見が活かさればと本部長の提案に対し、大学側からは是非お願いしたいとの依頼を受け実現した。

当日は、危機管理学部1年生を主体に学生42名が集まり、本部長の講義を受けた。本部長は、令和7年度の防衛白書の内容を中心に講義を実施したほか、自身も大学卒業後、自衛隊に入隊した経緯や、これまでの実務の経験談などについても触れられた。

講義に参加した学生からは、「私は警察官希望ですが、本日の講義を受講して、自衛隊の皆様も国民のために日頃から全力で頑張っている姿を垣間見て、就職の選択肢に入れようと思います。」という声や、「日本の安全を保障を学んでいる時に、貴重な講義を受講できたことに感謝致します。」といった声が聞かれた。同校危機管理学部の野村佳正教授（陸自OB・機甲科）からは、「本校の危機管理学部の学生達は危機管理に関する意識がとても高く、特に学内において自主的に活動している自警消防団を企画・運営するなどの取り組みは、目を見張るものがあります。今後も彼らの意思を受け担当教授として、防衛省・自衛隊を陰ながらアピールしていきたいと思っています。」と語ってくれた。

自衛隊千葉地方協力本部旭地域事務所長は、今後も厳しい募集環境のもと、学生の就活アドバイザーとなって大学における学園祭や安全保障講話などへ協力するとともに、大学生でも非常勤の特別職国家公務員となれる「予備自衛官補」についてアピールをする等、正しい自衛隊の姿を伝えることに全力を尽くし、更なる募集・広報に取り組んでいくとしている。

